

「内定者インターンシップ」を実施しました

9月2日(月)から9月13日(金)の2週間、来春から当センターに勤務する内定者のインターンシップを実施しました。

この内定者インターンシップは、内定者が入社前に実務を経験することで、担当する仕事や職場の雰囲気などを詳しく知ってもらうことを目的としています。また、若手職員と交流・情報交換する機会を設け、来年4月の円滑な入社につなげてもらうことを目指しました。

今回は、京都大学 防災研究所 火山防災研究センター穂高砂防観測所で開催された(公社)砂防学会主催の「若手砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会」にも職員と一緒に参加したほか、企画や広報、DXの取組みなどを実務として担当しました。

最終日のインターンシップ報告会では、2週間の成果を発表し、参加者からは、「具体的に働くイメージが掴めた」、「DXなど新しい技術に触れることができ、入社して取り組んでみたい」などのコメントがありました。

来年の春、成長した元気な姿での入社を期待しているところです。

当センターでは、今後もインターンシップや研修などに取り組む、若手技術者の育成・技術力の向上に努めてまいります。



奥飛騨研修会



DXに取り組む様子



報告書とりまとめ



インターンシップ成果報告会